

# ソーシャルワーク方法論

[講義] 第2学年 後期 選択 2単位

《担当者名》○福間 麻紀 m-fukuma@hoku-iryo-u.ac.jp 篠原 辰二(非)

## 【概要】

本科目は、ソーシャルワークにおける相談援助の理論と方法（多様な実践モデルと実践アプローチ、コミュニティワーク）を学び、その知識を具体的な支援事例の理解に応用できることを目指す。

## 【学修目標】

- 1 相談援助の実践モデル・実践アプローチを理解し、支援事例に応用できる。
- 2 コミュニティワークについて説明できる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ソーシャルワーク実践モデルの系譜 実践モデルとアプローチ1	実践モデル・アプローチの発展過程を理解する。 治療モデル、生活モデル、ストレングスモデルについての基本事項を説明できる。	福間
2	実践モデルとアプローチ2	心理社会的アプローチの基本事項（基盤理論、支援展開、適応対象、キーワード）を説明できる。	福間
3	実践モデルとアプローチ3	機能的アプローチの基本事項（基盤理論、支援展開、適応対象、キーワード）を説明できる。	福間
4	実践モデルとアプローチ4	問題解決アプローチの基本事項（基盤理論、支援展開、適応対象、キーワード）を説明できる	福間
5	実践モデルとアプローチ5	課題中心アプローチの基本事項（基盤理論、支援展開、適応対象、キーワード）を説明できる。	福間
6	実践モデルとアプローチ6	行動変容アプローチの基本事項（基盤理論、支援展開、適応対象、キーワード）を説明できる。	福間
7	実践モデルとアプローチ7	認知アプローチの基本事項（基盤理論、支援展開、適応対象、キーワード）を説明できる。	福間
8	実践モデルとアプローチ8	危機介入アプローチの基本事項（基盤理論、支援展開、適応対象、キーワード）を説明できる。	福間
9	実践モデルとアプローチ9	エンパワメントアプローチの基本事項（基盤理論、支援展開、適応対象、キーワード）を説明できる。	福間
10	実践モデルとアプローチ10	ナラティブアプローチの基本事項（基盤理論、支援展開、適応対象、キーワード）を説明できる。	福間
11	実践モデルとアプローチ11	解決志向アプローチの基本事項（基盤理論、支援展開、適応対象、キーワード）を説明できる。	福間
12	実践モデルとアプローチ12	さまざまなアプローチの基本事項（基盤理論、支援展開、適応対象、キーワード）を説明できる。	福間
13	コミュニティワーク1	コミュニティワークの意義と目的（コミュニティワークの展開とワーカーの行動を理解する）	篠原
14	コミュニティワーク2	コミュニティワークの展開（地域アセスメントの視点と社会資源の調整・開発について理解する）	篠原
15	コミュニティワーク3	コミュニティワークの展開（住民組織化活動と福祉教育、評価方法について理解する）	篠原

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

定期試験100%

## 【教科書】

【参考書】

久保紘章・副田あけみ編著『ソーシャルワークの実践モデル』（2005）川島書店  
他、講義内で紹介

【備考】

この科目は、社会福祉士国家試験受験資格、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「ソーシャルワークの理論と方法（共通科目）」に該当する。教職課程（福祉）では、教科に関する科目の「社会福祉援助技術」に該当する。

【学修の準備】

- ・予習として、シラバスに準じて事前に教科書を読んでおくこと。分からない語句については用語辞典等を用いて事前に調べること。（2時間）
- ・復習として、授業後は毎回要点整理を行い、分からない点については自分で調べるとともに、次回の授業までに担当教員に確認すること。（2時間）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

【実務経験】

福間麻紀（社会福祉士）、篠原辰二（社会福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

社会福祉士の経験を活かし、ソーシャルワークに求められる実践モデル・アプローチ、コミュニティワークに関する基本的知識を講義する。